



干布小学校だより

7月号 R6.7.25
天童市立干布小学校
校長 多勢 弘子

子どもに響く言葉かけとは ～子どものやる気と自信を育てるPTA研修会～



7/19(金)授業参観の後、5年ぶりに対面によるPTA研修会を開催しました。天童市教育委員会の海鋒和裕氏を講師に迎え、多くの保護者が参加し、熱心に話を聞いていました。

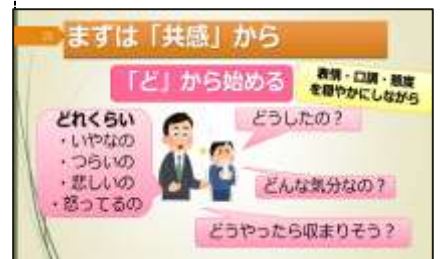
講演では、子育ての目的は「自己決定できる子」「責任感のある子」にすることだと説明されました。子どもの「自信」と自分からチャレンジしようとする「やる気」を育てるために効果的な「勇気づけ」について、保護者の心に寄り添いながら熱く語っていただきました。

保護者の多くが、子どもが
(右図は資料から抜粋)

言うことを聞かない、どう関わればいいかわからない、叱り方がわからないといった悩みを抱えています。そうしたときの対処法として、まず受容と共感から始め、評価や指導をするのではなく、感情を理解することが重要であるとのことでした。

失敗したときには「ダメでしょ！」と言うのではなく、「どうしたらいいと思う？」

と問いかけ、失敗の原因や解決策を自分で考えさせることが大切です。その結果、「できたね！」と言える日が来るでしょう。ちょっとした「勇気づけ」の言葉に変えるだけで、子どものやる気と自信が高まります。講演会の後は参加者の皆さんも子育てに対するやる気を持つことができたようです。



<参加者の感想より>

- 子供が計算ドリルをやっているときに、答えを見ながらやっている姿を見て、注意ばかりしていました。これではだめなんだよなあ、と考えさせられました。
- 「心配したんだから！」と言いながら、怖い顔をしていたと思います。言葉かけも大事ですが、表情も気をつけないといけないと思いました。
- 「ほめる」ことは子どもには上から目線的な印象だということにハッとしました。
- 「強さ=やさしさ」という話が心に残りました。強い子供に育てたいと思います。

修来太鼓復活

四谷小学校との交歓会で

披露



7月26日（金）から行われる干布小・四谷小夏の交歓会の歓迎会で、およそ20年ぶりに修来太鼓を披露することになりました。

きっかけは今年度の6年生が総合的な学習の時間を使い、昨年度から福祉について学びを進めている中で、地域の方々を元気づけたいと考え、目に入ったのが音楽室にあった太鼓でした。その後、楽譜や指導者を探すために地域の方々にご協力をいただき、ようやく練習にこぎつけることができました。感謝申し上げます。

四谷小との歓迎会は26日（金）13：40開始予定です。お時間がございましたら、ぜひ公民館にお越しください。



主な行事予定

- 10日（土） 学校閉庁 ～16日（金）
- 25日（日） PTA奉仕作業 ◆PTA事務局会
- 26日（月） 安全点検
- 27日（火） 2学期始業式 給食開始
- 28日（水） さわやか週間① ～9/1（日）
- 30日（金） 夏休み作品展 ～9/6（金）



1、2年生が短冊に願い込めて七夕飾りを作りました。将来の夢、家族の健康など、願いが叶いますように。笹竹は、鈴木修史（長龍寺）様からご協力いただきました。ありがとうございました。

おしらせ

いつも学校だよりをご覧いただき、地域の方々からもたくさんの関心が寄せられておりますこと誠に感謝いたします。これまで学校の様子を子供たちの活動する写真でお伝えしてきましたが、近年、インターネットやSNSの普及に伴い、個人情報の取り扱いに対する意識が高まっております。本校におきましても、PTA広報誌「ひろば」の発行について検討がすすめられていることから、児童の安全を最優先に考え、今後「学校だより」には児童の顔写真および氏名を掲載しないことにいたします。地域の皆様方におかれましては、行事や「おらほの学校ボランティア」に参加していただき児童の様子をご覧いただくと幸いです。保護者の皆様には児童用タブレットによる写真の閲覧を継続していきます。ご理解の程よろしく願いいたします。

学校の様子については随時学校ホームページでお知らせしております。ぜひご覧ください。
学校ホームページ <https://www.hosinuno.jp/>

